

研究課題名：埼玉大生のための学習力向上法の開発プロジェクト
－「情報リテラシー科学」の創生を目指して－

研究課題種目：【一般研究】新領域研究

プロジェクト番号：A10-117

プロジェクト代表者：坂西友秀 図書館長（教育学部教授）
分担者 高木英至 教養学部長・教授
石戸教嗣 教育学部教授
大西純一 理工学研究科教授
高橋 輝 図書館情報課長

1. 目 的

本プロジェクト研究は、埼玉大学の学生が学習力の向上を図るために、パソコンや埼玉大学図書館（以下「図書館」という。）をどのように利用し、さらに学習力の向上を図っているのかを明らかにすることを目的とする。以下の2点に焦点を当て研究を進めた。①埼玉県内の高等学校および埼玉大学の学部学生を対象にアンケート調査を行い、学生の情報や情報機器等の利用の実態を明らかにする。②図書館がどのように学生の学習力向上のために寄与することができるかを検討するために、「埼玉大生のための情報リテラシー力育成ハンドブック」（以下「ハンドブック」という。）を作成する。①、②の検討を実際に図書館サービスに適用し反映させ、さらにその結果を利用者にフィードバックすることで、図書館の利便性の向上を図りたい。加えて、今後ハンドブックを更に充実させていき、引いては埼玉大学独自の「情報リテラシー科学」の創設の礎を築くきっかけとする。

2. 概 要

- (1) 本プロジェクトにおいては、「情報をつかいこなす力」を、自分が必要としている情報を把握し、効率的に見つけ出し、集めた情報を管理し、その内容を批判的に評価し、集めた情報を組み合わせ、自分の知見を加え、新たな情報を生み出すなどの力ととらえた。
- (2) 高等学校の教科「情報」（「情報A」「情報B」「情報C」の各科目）と埼玉大学における情報リテラシー関係基礎科目の接合状況に関して、質問紙法により現状の把握を行う。
- (3) 埼玉大生のための情報リテラシー力育成ハンドブックを作成し、図書館サービスの一環として使用するとともに、埼玉大学における学際領域としての研究分野として「情報リテラシー科学（仮称）」の創生の礎を築く契機とすることを旨とする。

3. 活 動

（1）研究計画検討会議

平成22年8月9日、第1回会議

本プロジェクトの申請概要や活動内容の説明が行なわれた。また、この会議において実施体制のWGメンバーが決定した。

（2）情報収集

情報リテラシー教育先行大学に出張して調査を行った。

平成22年11月4日(木)に、琉球大学においてライブラリーワークショップについて調査した。

平成23年12月16日（木）に、金沢大学においてラーニングコモンズについて調査した。

平成23年1月12日（水）に、大阪大学においてラーニングコモンズ及びティーチングアシスタントについて調査した。

4. 「埼玉大生のための情報リテラシー力育成ハンドブック」構成

（1） 利用者が資料を探す過程

（2） 図書を探す

（3） 雑誌記事・論文を探す

（4） 新聞記事を探す

（5） データベースの紹介

（6） 図書館の利用

① 埼玉大学図書館サービス

レファレンスサービス、ILL、訪問利用、購入希望図書

② 他機関の紹介

国立国会図書館、埼玉県立図書館、さいたま市図書館（桜図書館）

5. パソコンと図書館の利用についてのアンケート調査結果

(1) 調査名

パソコンと図書館の利用についてのアンケート

(2) 調査期間

平成22年12月～平成23年1月

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査 (発送数: 412件)

(4) 調査対象

調査対象者は、高校生と大学生であった。

① 次に掲げる埼玉県立高等学校に在籍する生徒

埼玉県立大宮高等学校

埼玉県立川越女子高等学校

埼玉県立春日部高等学校

埼玉県立川越高等学校

② 埼玉大学の学部 に在籍する学生

教養学部

教育学部

理学部

(5) アンケート回収件数

回答者は412人であった (回収率100%)。

内訳

	配布 (件)	回収 (件)	回収率 (%)
埼玉県立大宮高等学校	157	157	100
埼玉県立川越女子高等学校	39	39	100
埼玉県立春日部高等学校	40	40	100
埼玉県立川越高等学校	38	38	100
埼玉大学教養学部	50	50	100
埼玉大学教育学部	45	45	100
埼玉大学理学部	43	43	100

(6) 有効回答数

有効回答数は 412 人であった。

(7) 調査結果

調査結果は、質問に沿ってクロス分析を行いまとめた。

パソコンと図書館の利用についてのアンケート調査結果

Q1 学年

全回答者 412 人中、高校 1 年 202 人(49.0%)、高校 2 年 74 人(18.0%)、高校 3 年 1 人(0.2%)、大学 1 年 48 人(11.7%)、大学 2 年 39 人(9.5%)、大学 3 年 47 人(11.4%)、大学 4 年 1 人(0.2%) だった。

Q1.学年

合計	412
(%)	100.0
高校1年	202
(%)	49.0
高校2年	74
(%)	18.0
高校3年	1
(%)	0.2
大学1年	48
(%)	11.7

Q2 パソコン使用時期

パソコンを使い始めた時期については、高校生の群では小学 2 年より前が 25.3%(70 人)と最も多く、次いで小学 3 年 19.9%(55 人)、小学 4 年 15.5%(43 人)、小学 5 年 11.2%(31 人)と続いた。

一方、大学生の群では、中学 3 年以降が最も多く 22.2%(30 人)、次いで小学 5 年生 15.6%(21 人)、小学 4 年 14.1%(19 人)と中学 1 年 14.1%(19 人)と続き、高校生の群との違いが顕著だった。

Q2.パソコン使用時期

	合計	小学2 年より 前	小学2 年	小学3 年	小学4 年	小学5 年	小学6 年	中学1 年	中学2 年	中学3 年以降	無回答
全体	412	85	17	70	62	52	29	46	14	36	1
(%)	100.0	20.6	4.1	17.0	15.0	12.6	7.0	11.2	3.4	8.7	0.2
高校1 年	202	53	11	36	32	24	16	19	6	5	0
(%)	100.0	26.2	5.4	17.8	15.8	11.9	7.9	9.4	3.0	2.5	0.0
高校2 年	74	17	2	19	11	7	7	7	2	1	1
(%)	100.0	23.0	2.7	25.7	14.9	9.5	9.5	9.5	2.7	1.4	1.4
高校3 年	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
大学1 年	48	4	2	7	8	9	2	7	2	7	0
(%)	100.0	8.3	4.2	14.6	16.7	18.8	4.2	14.6	4.2	14.6	0.0
大学2 年	39	6	1	5	4	6	0	5	1	11	0
(%)	100.0	15.4	2.6	12.8	10.3	15.4	0.0	12.8	2.6	28.2	0.0
大学3 年	47	5	1	3	7	5	4	7	3	12	0
(%)	100.0	10.6	2.1	6.4	14.9	10.6	8.5	14.9	6.4	25.5	0.0
大学4 年	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	70	13	55	43	31	23	27	8	6	1
(%)	100.0	25.3	4.7	19.9	15.5	11.2	8.3	9.7	2.9	2.2	0.4
大学生	135	15	4	15	19	21	6	19	6	30	0
(%)	100.0	11.1	3.0	11.1	14.1	15.6	4.4	14.1	4.4	22.2	0.0

Q3 高校で履修した教科「情報」の科目

高校で履修した教科「情報」の科目は、高校生の群では情報Bが最も多く69.7%(193人)、次いで情報Cの28.5%(79人)、情報Aは1.4%(4人)だった。

一方、大学生の群では、情報Aの54.1%(73人)が最も多く、情報B20.7%(28人)、情報C11.1%(15人)と続いた。また、専門教科情報科を履修した者は1.5%(2人)だった。

Q3.高校で受講した「情報」

	合計	情報A	情報B	情報C	専門教科情報科	受講していない	無回答
全体	412	77	221	94	2	15	3
(%)	100.0	18.7	53.6	22.8	0.5	3.6	0.7
高校1年	202	3	119	79	0	0	1
(%)	100.0	1.5	58.9	39.1	0.0	0.0	0.5
高校2年	74	0	74	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年	1	1	0	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	22	16	8	1	1	0
(%)	100.0	45.8	33.3	16.7	2.1	2.1	0.0
大学2年	39	24	6	5	0	4	0
(%)	100.0	61.5	15.4	12.8	0.0	10.3	0.0
大学3年	47	26	6	2	1	10	2
(%)	100.0	55.3	12.8	4.3	2.1	21.3	4.3
大学4年	1	1	0	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	4	193	79	0	0	1
(%)	100.0	1.4	69.7	28.5	0.0	0.0	0.4
大学生	135	73	28	15	2	15	2
(%)	100.0	54.1	20.7	11.1	1.5	11.1	1.5

Q4 高校で履修した「情報」の役立ち度

高校で履修した「情報」の役立ち度については、高校生の群では「どちらかというと役に立った」が57.2%(158人)と最も多く、次いで「どちらかというと役に立たなかった」が23.9%(66人)となった。「とても役に立った」は13.8%(38人)にとどまり、「まったく役に立たなかった」も4.7%(13人)に上った。

大学生の群でも、「どちらかというと役に立った」53.4%(63人)が最も多く、次いで「どちらかというと役に立たなかった」が25.4%(30人)となった。「とても役に立った」は11.9%(14人)で、「まったく役に立たなかった」は9.3%(11人)となった。

Q4.高校で受講した「情報」の役立ち度 (Q3で「受講していない」「無回答」以外の人)

	合計	とても役に 立った	どちらかとい うと役に 立った	どちらかとい うと役に立た なかった	まったく 役に立たな かった	無回答
全体	394	52	221	96	24	1
(%)	100.0	13.2	56.1	24.4	6.1	0.3
高校1年	201	27	124	40	10	0
(%)	100.0	13.4	61.7	19.9	5.0	0.0
高校2年	74	11	34	25	3	1
(%)	100.0	14.9	45.9	33.8	4.1	1.4
高校3年	1	0	0	1	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
大学1年	47	5	28	9	5	0
(%)	100.0	10.6	59.6	19.1	10.6	0.0
大学2年	35	7	17	10	1	0
(%)	100.0	20.0	48.6	28.6	2.9	0.0
大学3年	35	2	18	11	4	0
(%)	100.0	5.7	51.4	31.4	11.4	0.0
大学4年	1	0	0	0	1	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高校生	276	38	158	66	13	1
(%)	100.0	13.8	57.2	23.9	4.7	0.4
大学生	118	14	63	30	11	0
(%)	100.0	11.9	53.4	25.4	9.3	0.0

Q5 パソコン利用頻度

パソコンの利用頻度については、高校生の群は「週に4回以上」が34.3%(95人)と最も多く、「週に2～3回」28.9%(80人)、「週に1回」17.3%(48人)、「月に2～3回」14.8%(41人)、「月に1回以下」4.7%(13人)と続いた。

大学生の群では、「週に4回以上」が77.8%(105人)と最も多く、次いで「週に2～3回」16.3%(22人)となった。あまり利用しない層は極端に減少し、「週に1回」4.4%(6人)、「月に2～3回」1.5%(2人)となった。

Q5.パソコン利用頻度

	合計	週に 4回以上	週に 2～3回	週に1回	月に 2～3回	月に 1回以下	無回答
全体	412	200	102	54	43	13	0
(%)	100.0	48.5	24.8	13.1	10.4	3.2	0.0
高校1年	202	64	66	35	27	10	0
(%)	100.0	31.7	32.7	17.3	13.4	5.0	0.0
高校2年	74	30	14	13	14	3	0
(%)	100.0	40.5	18.9	17.6	18.9	4.1	0.0
高校3年	1	1	0	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	38	7	3	0	0	0
(%)	100.0	79.2	14.6	6.3	0.0	0.0	0.0
大学2年	39	26	11	1	1	0	0
(%)	100.0	66.7	28.2	2.6	2.6	0.0	0.0
大学3年	47	40	4	2	1	0	0
(%)	100.0	85.1	8.5	4.3	2.1	0.0	0.0
大学4年	1	1	0	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	95	80	48	41	13	0
(%)	100.0	34.3	28.9	17.3	14.8	4.7	0.0
大学生	135	105	22	6	2	0	0
(%)	100.0	77.8	16.3	4.4	1.5	0.0	0.0

Q6 文書作成ソフト利用頻度

文書作成ソフトの利用頻度については、高校生の群では、「まったく利用しない」が32.9%(91人)と最も多く、「どちらかという利用しない」23.1%(64人)、「大いに利用する」22.0%(61人)、「どちらかという利用する」21.7%(60人)の順となった。

これに対し大学生の群では、「大いに利用する」が95.6%(129人)と圧倒的多数となり、次いで「どちらかという利用する」2.2%(3人)、「どちらかという利用しない」1.5%(2人)、「まったく利用しない」0.7%(1人)の順となった。

Q6.文書作成ソフト利用頻度

	合計	大いに 利用する	どちらか という 利用する	どちらか という 利用しない	まったく 利用しない	無回答
全体	412	190	63	66	92	1
(%)	100.0	46.1	15.3	16.0	22.3	0.2
高校1年	202	33	37	48	84	0
(%)	100.0	16.3	18.3	23.8	41.6	0.0
高校2年	74	27	23	16	7	1
(%)	100.0	36.5	31.1	21.6	9.5	1.4
高校3年	1	1	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	47	0	1	0	0
(%)	100.0	97.9	0.0	2.1	0.0	0.0
大学2年	39	39	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年	47	43	3	1	0	0
(%)	100.0	91.5	6.4	2.1	0.0	0.0
大学4年	1	0	0	0	1	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高校生	277	61	60	64	91	1
(%)	100.0	22.0	21.7	23.1	32.9	0.4
大学生	135	129	3	2	1	0
(%)	100.0	95.6	2.2	1.5	0.7	0.0

Q7 調べものの際のパソコン寄与度

調べものをする際のパソコンの利用については、高校生の群では、「大いに利用する」が66.8%(185人)と最も多く、「どちらかという利用する」26.4%(73人)、「どちらかという利用しない」4.7%(13人)、「まったく利用しない」1.8%(5人)と続いた。

大学生の群では、「大いに利用する」が75.6%(102人)と最も多く、「どちらかという利用する」19.3%(26人)、「どちらかという利用しない」4.4%(6人)と続き、「まったく利用しない」は0.0%(0人)だった。

Q7.調べものの際のパソコン寄与度

	合計	大いに 利用する	どちらか という 利用する	どちらか という 利用しない	まったく 利用しない	無回答
全体	412	287	99	19	5	2
(%)	100.0	69.7	24.0	4.6	1.2	0.5
高校1年	202	133	55	9	5	0
(%)	100.0	65.8	27.2	4.5	2.5	0.0
高校2年	74	51	18	4	0	1
(%)	100.0	68.9	24.3	5.4	0.0	1.4
高校3年	1	1	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	37	6	4	0	1
(%)	100.0	77.1	12.5	8.3	0.0	2.1
大学2年	39	27	10	2	0	0
(%)	100.0	69.2	25.6	5.1	0.0	0.0
大学3年	47	38	9	0	0	0
(%)	100.0	80.9	19.1	0.0	0.0	0.0
大学4年	1	0	1	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	185	73	13	5	1
(%)	100.0	66.8	26.4	4.7	1.8	0.4
大学生	135	102	26	6	0	1
(%)	100.0	75.6	19.3	4.4	0.0	0.7

Q8 一般的な図書館利用頻度

通常どの程度図書館を利用するかについては、高校生の群では、「月に1回以下」が64.3%(178人)と最も多く、「月に2～3回」20.9%(58人)、「週に1回」6.1%(17人)、「週に2～3回」4.3%(12人)、「週に4回以上」4.3%(12人)と続いた。

大学生の群では、「月に2～3回」が28.9%(39人)と最も多く、次いで「月に1回以下」が27.4%(37人)という結果となった。以下「週に2～3回」21.5%(29人)、「週に1回」17.0%(23人)、「週に4回以上」5.2%(7人)と続いた。

Q8.一般的な図書館利用頻度

	合計	週に 4回以上	週に 2～3回	週に1回	月に 2～3回	月に 1回以下	無回答
全体	412	19	41	40	97	215	0
(%)	100.0	4.6	10.0	9.7	23.5	52.2	0.0
高校1年	202	6	7	9	44	136	0
(%)	100.0	3.0	3.5	4.5	21.8	67.3	0.0
高校2年	74	6	4	8	14	42	0
(%)	100.0	8.1	5.4	10.8	18.9	56.8	0.0
高校3年	1	0	1	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	2	5	7	19	15	0
(%)	100.0	4.2	10.4	14.6	39.6	31.3	0.0
大学2年	39	2	13	6	7	11	0
(%)	100.0	5.1	33.3	15.4	17.9	28.2	0.0
大学3年	47	3	10	10	13	11	0
(%)	100.0	6.4	21.3	21.3	27.7	23.4	0.0
大学4年	1	0	1	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	12	12	17	58	178	0
(%)	100.0	4.3	4.3	6.1	20.9	64.3	0.0
大学生	135	7	29	23	39	37	0
(%)	100.0	5.2	21.5	17.0	28.9	27.4	0.0

Q9 調べものの図書館利用頻度

調べものをする際の図書館の利用については、高校生の群では、「まったく利用しない」が43.0%(119人)で最も多く、次いで「どちらかという利用しない」34.3%(95人)となった。以降、「どちらかという利用する」18.8%(52人)、「大いに利用する」3.2%(9人)の順となった。

これに対し大学生の群では、「大いに利用する」が34.1%(46人)と最も多く、「どちらかという利用する」31.1%(42人)、「どちらかという利用しない」25.2%(34人)、「まったく利用しない」9.6%(13人)と続いた。

Q9.調べものの際の図書館利用頻度

	合計	大いに 利用する	どちらか という 利用する	どちらか という 利用しない	まったく 利用しない	無回答
全体	412	55	94	129	132	2
(%)	100.0	13.3	22.8	31.3	32.0	0.5
高校1年	202	5	27	77	93	0
(%)	100.0	2.5	13.4	38.1	46.0	0.0
高校2年	74	4	24	18	26	2
(%)	100.0	5.4	32.4	24.3	35.1	2.7
高校3年	1	0	1	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
大学1年	48	7	14	20	7	0
(%)	100.0	14.6	29.2	41.7	14.6	0.0
大学2年	39	20	9	9	1	0
(%)	100.0	51.3	23.1	23.1	2.6	0.0
大学3年	47	18	19	5	5	0
(%)	100.0	38.3	40.4	10.6	10.6	0.0
大学4年	1	1	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	9	52	95	119	2
(%)	100.0	3.2	18.8	34.3	43.0	0.7
大学生	135	46	42	34	13	0
(%)	100.0	34.1	31.1	25.2	9.6	0.0

Q10 図書館での目録の利用頻度

図書館で目録を利用するかどうかについては、高校生の群では、「まったく利用しない」が48.7%(135人)と最も多く、次いで「どちらかというと利用しない」26.4%(73人)、「どちらかというと利用する」16.2%(45人)、「大いに利用する」8.3%(23人)の順となった。

大学生の群では、「まったく利用しない」が36.3%(49人)と最も多く、次いで「どちらかというと利用する」24.4%(33人)、「どちらかというと利用しない」22.2%(30人)、「大いに利用する」17.0%(23人)の順となった。

Q10.図書館での目録の利用頻度

	合計	大いに 利用する	どちらか いうと 利用する	どちらか いうと 利用しない	まったく 利用しない	無回答
全体	412	46	78	103	184	1
(%)	100.0	11.2	18.9	25.0	44.7	0.2
高校1年	202	12	37	51	102	0
(%)	100.0	5.9	18.3	25.2	50.5	0.0
高校2年	74	11	8	21	33	1
(%)	100.0	14.9	10.8	28.4	44.6	1.4
高校3年	1	0	0	1	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
大学1年	48	7	14	11	16	0
(%)	100.0	14.6	29.2	22.9	33.3	0.0
大学2年	39	5	5	10	19	0
(%)	100.0	12.8	12.8	25.6	48.7	0.0
大学3年	47	11	13	9	14	0
(%)	100.0	23.4	27.7	19.1	29.8	0.0
大学4年	1	0	1	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
高校生	277	23	45	73	135	1
(%)	100.0	8.3	16.2	26.4	48.7	0.4
大学生	135	23	33	30	49	0
(%)	100.0	17.0	24.4	22.2	36.3	0.0

(8) 考察

今回の調査において、まず、パソコンを使い始めた時期 (Q2) については、高校生の群と大学生の群とでその時期に顕著な違いがみられた。高校生の群では「小学2年より前」が 25.3%(70人)と最も多かったのに対し、大学生の群では、「中学3年以降」が 22.2%(30人)と最も多いという結果となった。

高校で履修した教科「情報」が、以後の学習や生活に役に立ったかどうかの意識 (Q4) については、高校生の群、大学生の群ともに、「どちらかという役に立った」がそれぞれ最も多くなっている (高校生の群 57.2%(158人)、大学生の群 53.4%(63人)) 反面、「どちらかという役に立たなかった」(高校生の群 23.9%(66人)、大学生の群 25.4%(30人))、「まったく役に立たなかった」(高校生の群 4.7%(13人)、大学生の群 9.3%(11人)) も見逃せない割合として示され、結果として教科「情報」の在り方について再検討の余地のあることをうかがわせる。

パソコンの利用頻度 (Q5) については、高校生の群、大学生の群ともに「週4回以上」が最も多くなっている (高校生の群 34.3%(95人)、大学生の群 77.8%(105人)) もの、高校生に比べ大学生はパソコンを常用していることをうかがわせる結果となった。

パソコンをどのように利用しているかを調べるため、文書作成ソフトの利用 (Q6) と調べもの (Q7) の設問を設定した。

まず、文書作成ソフトの利用については、高校生の群では「まったく利用しない」が 32.9%(91人)と最も多かったが、利用している層の間では「どちらかという利用しない」 23.1%(64人)、「大いに利用する」 22.0%(61人)、「どちらかという利用する」 21.7%(60人)となり、利用の意識は3つに分かれた。これに対し大学生の群では、「大いに利用する」が 95.6%(129人)と圧倒的多数となり、大学生にとって文書作成ソフトの利用は必要不可欠であることを確認することができた。

次に調べものをする際にパソコンを利用するだろうかということでは、高校生の群、大学生の群ともに、「大いに利用する」(高校生の群 66.8%(185人)、大学生の群 75.6%(102人))、「どちらかという利用する」(高校生の群 26.4%(73人)、大学生の群 19.3%(26人))。

最後に図書館の利用について、日常の利用 (Q8)、調べものための利用 (Q9)、目録の利用 (Q10) について3つの設問を設定した。

まず、日常の利用については、高校生の群、大学生の群ともに図書館の利用頻度は高くなく、高校生の群で「月に1回以下」が 64.3%(178人)と最も多く、「月に2～3回」 20.9%(58人)がこれに続いた。大学生の群は、「月に2～3回」が 28.9%(39人)と最も多かったが、「月に1回以下」も 27.4%(37人)の回答があり、高校生、大学生ともに、日常の利用ということでは、あまり図書館には足を運ばないということが改めて分かった。

次に調べものをするという目的と図書館の利用ということについては、高校生の群と大学生の群とでは異なる意識のあることが分かった。高校生の群では、「まったく利用し

ない」が 43.0%(119 人)で最も多く、次いで「どちらかという利用しない」34.3%(95 人)となったが、大学生の群では、「大いに利用する」が 34.1%(46 人)と最も多く、「どちらかという利用する」31.1%(42 人)がこれに続いた。調べものをする場合には、高校生はもっぱらパソコンのみを利用するのに対して、大学生はパソコンも図書館も利用する傾向がみてとれる。

最後に図書館での目録の利用については、高校生の群、大学生の群ともに、利用しないか、利用しても頻度は少ない傾向にある。

(9) 総合考察

アンケート結果に表れた、現在の高校生像は、小学校の低学年から中学年にかけて、既にパソコンに触れる機会を得ており、調べものにパソコンを活用するが、文書作成は行わない傾向にあり、高等学校教科「情報」において履修するはずの文書作成に関する学習項目が、実際の学習活動に結びついていない可能性がある。教科「情報」と「調べ学習」は、本来密接な関係があるが、図書館の利用に対する意識が低いことから、授業内容とこれらの学習項目について更に研究を深める必要がある。

以上のような高校生像をもった高校生を大学が受け入れることを考えると、大学図書館では、図書館の利用に関する一般的なガイダンスのほかに、実際の調べ方に関する実習を伴う講習などのサービスの提供が必要となるだろう。

また、大学図書館にあっては、調査結果が示すように、学生が日常的に図書館に足を運びたくなるような図書館サービスの開発を求められているといえるだろう。

(10) 謝辞

パソコンと図書館の利用についてのアンケート調査実施に当たり、ご協力くださいました、埼玉県立大宮高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、埼玉県立春日部高等学校、埼玉県立川越高等学校の皆様へ深く感謝申し上げます。また、このアンケート調査の調査項目についてご助言くださった、埼玉県立浦和図書館の皆様へ深く感謝申し上げます。

なお、この調査は、平成22年度埼玉大学総合研究機構プロジェクト研究費【一般研究】新領域研究(プロジェクト番号 A10-117)「埼大生のための学習力向上法の開発プロジェクトー「情報リテラシー科学」の創生を目指してー」の経費により実施されました。記して関係各位に謝意を表します。

(プロジェクト分担者：高橋輝 分析)